

3/25 令和2年度 第2回堺市立図書館協議会
会議録

令和2年度 第2回堺市立図書館協議会	
令和3年3月25日(木) 14時~15時 堺市立中央図書館 1階 集会室	
委員	常世田良会長(リモート参加)、平野祐子副会長、久保照男委員、 飛石隆男委員、脇谷邦子委員、吉田マリ子委員、山中浩之委員、 森美由紀委員
欠席	高橋康一委員
事務局	藤田中央図書館長、浦部中央図書館参事(企画・調整担当)、 赤嶺中央図書館総務課長、田中中央図書館総務課長補佐、 杉本中図書館長、六車東図書館長、中川西図書館長、白川南図書館長、 成清北図書館長、岡田美原図書館長、伊豫田企画情報係長、 白川図書館サービス係長、湯川主幹兼管理係長、浦田企画情報係員
傍聴	9人
案件	1. 令和2年度 各区の取組について 2. その他

署名委員の決定

飛石委員 吉田委員

案件1について

発言者	内容
事務局	案件について説明。
【令和2年度 各区の取組について】	
委員	各区でそれぞれに工夫してやってくれていることはいい。 ただ、何か特別なサービスを実施するのではなく、例えば図書館に行っ て本が探しやすい、といった基本的なサービスのところにも視点を向けて 欲しい。職員の対応が良い、居心地がいい、図書館に行っても分からない事 を教えてくれたなど、そういうことにも力を入れて欲しい。
会長	新型コロナウイルス感染症については、大学図書館も含めて対応が分か れている。感染拡大初期のうちには危険性がどのくらいあるのか分からない ので、厳密に安全策をとるのは致し方なかったと思う。

	<p>問題はその後、安全性や危険性の全体像が見えてきた時に、どのくらい早くサービス再開に向けて立ち直ったかということかと考える。例えば混雑度や職員配置といった安全性の問題を考慮して予約・貸出を始める、あるいは移動図書館のステーションを増やすなど。郵送サービスみたいなことを始めた大学もある。全体像を見極めて、どのくらいスピーディーにサービスを再開したかがポイントになるのではないか。</p> <p>人口が少なく図書館がひとつしかない自治体ならば、対策の選択肢も多々あると思うが、堺市の場合は人口も多く、また行政区ごとに事情が違うので、対策に向けて全体的に取り組むことについては、現場の苦勞があったのではないか。</p> <p>パンデミックはこのコロナだけで終わるわけではなく、ウイルスや感染状況の違いはあれどもまたいずれ起こるだろうから、その時の準備、マニュアルのようなものも必要。</p> <p>委員からの意見があったように、緊急事態宣言下にあってもごく普通のサービスを維持することは、私も重要であると考え。ただ、それでも十分なサービスは行えないということもあって、例えばアメリカの図書館では、膨大な電子書籍の提供や、色々なデータベースを自宅から検索できるサービスをやっていた。そういう点では、日本の大学や公共図書館に比べれば、よほど平時に近いサービスができていたと考える。</p> <p>SNS等を活用した zoomでのおはなし会や映画祭までやっているところもある。そういうことの実施も検討する必要があると思う。また、映像で本棚を常時インターネット配信して、利用者がいつでも見られる、いわゆる検索とは違い、ブラウジングによって必要な本を探すこともやるべきだという議論がある。もちろん、著作権の問題があるが、検討していく必要があるのではないか。</p>
委員	<p>電子書籍など、こういう状況になった時に利用できるツールがあるのはわかるが、いざ使おうとなると使い方がわからない。今は難しいと思うが、日頃から講座等をして市民に利用方法が行き渡れば、もう少し利用者が増えると思う。</p>
会長	<p>今の意見は非常に重要で、本に親和性が高いといわれる世代と電子的なデバイス・メディアと親和性の高い世代があり、世代によって差があるので、一律に図書館側として白か黒かというような、単純なサービスで割り</p>

	<p>切れないというのは、非常に問題だ。障害を持った方も高齢な方も、様々な状況・ニーズのある方たちに対応しなくてはいけないという多様性が公共図書館のサービスの難しいところだ。</p> <p>神奈川県横須賀市が楽天とスーパーマーケットの西友と提携し、自動運転の車で商品を消費者の自宅まで届ける実証実験を始めた。資料の宅配をするように対応した図書館もあるが、企業と提携して市民の近くまで本を届けるということも、もう夢物語ではなく実用段階に入っている。今後、別のパンデミックが起きた時にはそういう手段を使うことも、これから5年10年というレンジで考えるともう当たり前になりつつある。そうなるとう実物の本を手にとって読んでもらうことに繋がっていく。様々な選択肢を平時から考えていく必要がある。そういう意味では、堺東駅のポイントから貸出をするということも非常に有効であると考えている。</p>
【評価について】	
<p>会長</p>	<p>前年度に次年度のサービス目標を立て、それに1年間取り組んで、その結果どうだったかを評価し、課題を分析して、そしてまた次のサービス計画を立てていく、というPDCAサイクルが重要。そのことをもう少し分かりやすく、あるいは数字で報告し、市民にそのサイクルがわかりやすいようにすることが大事ではないか。</p> <p>今回、コロナによってどのくらい利用が落ちたのか、堺市内の他の図書館と比べて自分の区はどのくらい利用が落ちたのかというようなことを、比較的明確に数字で出している図書館とそうではない図書館がある。この辺りは統一した形で報告する必要があるのではないか。</p>

案件2について	
<p>発言者</p>	<p>内容</p>
<p>事務局</p>	<p>案件について説明</p>
<p>委員</p>	<p>予算説明資料の中で「その他」について、人件費がどのくらいなど、もう少し詳しく説明して頂きたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>「その他」だが、人件費は入っていない。この項のメインとなるのは委託料。中央図書館も含めて施設の管理維持経費が特に大きく、具体的ところは図書館カウンター堺東、鳳の保健センターの維持管理費等である。</p>

委員	堺東にできる新しいサービスポイントの件でこれだけ増えているということか。
会長	心配なのは資料費が少し減額になっていること。やはり資料は図書館の生命線なので、毎年少しずつ減額になっている傾向が出ないように取り組む必要があるのではないか。
委員	堺東の新しいサービスポイントのために全体として予算は増えているが、個々の内訳をみると資料費が減っているのがすごく残念。講師謝礼も減っているので、図書館サービスに影響が出てくるかと思う。逐次刊行物も減少している。これはなんともならなかったのか。市全体的、全国的にこういう傾向なのは理解している。マイナスシーリングがかかったということか。
事務局	令和3年度予算は市全体の事業に対してシーリングをかけるということで、図書館にかかる予算も全て対象になっている。 特に資料費は図書館にとって命と言うべき重要なものなので、シーリング対象外になるよう財政と協議してきたが、力及ばずシーリング対象になった。それだけにマイナス以上に新規事業に予算は獲得したいという思いで今回増額になっている。
会長	市長が代わって堺市全体の課題として財政問題に力を入れる姿勢を示されているようなので、市役所全体に対してシーリングがかかってくるだろうということは予想がつく。行政組織なのでトップの政策に個々のセクションが逆らうというのは難しい。 であれば、市民全体の、納税者の意向として、図書館の予算は別枠にしてほしいというような大きな戦略を立ててしていかなければいけない。 日本の公務員は政治的行動というのは法律でできないことになっているが、いろいろな機会を通じて議員や市民に対し、図書館にとって資料は生命線だということを、役に立つということを示していくことが重要。 他の政令指定都市との数値的な比較もしていかなければならない。その辺も含めて、図書館職員とともに分析をして、様々な戦略を練っていくことが協議会としても必要ではないか。
【図書館カウンター堺東の開設について】	
事務局	案件について説明

会長	このカウンターは堺東駅の改札口からどのくらいか。
事務局	駅の南側改札口から図書館カウンター堺東が入る建物まで、連絡通路が2階部分でつながっている。建物に入ってまっすぐに行くか、デッキを通過って建物外側から行くという形になる。 時間にして、改札口から歩いて2分半くらい。
会長	以前勤務していた千葉県浦安市は市内に駅が三つあり、三つの駅の直近にこういうサービスポイントを配置して、その三つの貸出数合計が最も貸出の多い分館と同じくらい、年間20万冊くらいある。なので、おそらくこの堺東のサービスカウンターの利用状況はものすごいことになるのではないかと予想している。大成功するのではないかと。大成功することによって他の主要な駅にもこういうサービスポイントを置けという声が市民の方から寄せられるようになるのではないかと。 朝早くから夜まで開いているので、浦安市でもそうだが非常に便利。 パンデミックが起きて、図書館自体は閉館したとしても、こういうサービスポイントを機能させることによって市民の知る権利、資料要求というものに対応できる、非常に重要な施設だと思うので、いろいろ課題も起こってくると思うが、頑張ってください。
【図書郵送サービスモデル事業の実施について】	
事務局	案件について説明
委員	正直に言うとサービスの開始が遅すぎた印象。昨年の緊急事態宣言が発令した頃に取り組んだ図書館はいくつか聞いている。堺はほとんど事態が収まったころに開始して、果たして利用数はどうなのかと。そうではなくて、障害者や入院している方や図書館の利用が困難な方に対しての無料郵送サービスというのをぜひ実施すべきではないか。今コロナで障害者の方にとっては非常に外に出かけにくい状況にある。一刻も早く来館困難な方への無料での配送サービスを検討してほしい。
委員	他のことだが、図書館ホームページに、雑誌の最新号に付けるカバーに載せる広告の募集が出ているが、それについて今どういう状況か、これから拡大していくのか。 もう一つは窓口においてあるしおりの漫画で、カードを忘れたらこうやってスマホでできるとか描いたのが置いてある。なかなか面白いと思っ

	た。
事務局	<p>広告募集について。図書館には収益事業は一切なく、いくらか今後の予算に反映できたらという思いで進めている事業だが、今年度申込みは今のところない。過去実績は、昨年一昨年と申し込みはなく、初年度は、1件申込があったのみ。</p>
事務局	<p>4コマ漫画に関して。図書館では1年に一度来館者アンケートを行っている。そこでいただいた意見をサービス向上につなげようという取組みだが、既に実施していることに対しても意見がある。図書館からの情報発信が不十分と考えられ、気軽に知っていただきたいという思いで取り組んでいる。現在3つのテーマについてのしおりを配布しており、今後も引き続き実施していきたい。</p>
【公衆無線 LAN（無料 Wi-Fi）の整備について】	
事務局	<p>案件について説明</p>
会長	<p>公共施設であれば、フリーWi-Fiというのは当然という状況になっている。これによって利用者の利便性が向上するというのは非常に良いこと。</p>
【全体として】	
委員	<p>図書館カウンター堺東ができたことは画期的で、コロナ禍の中、職員の皆さんはそれぞれ思いをもって、頑張ってもらっていることには感謝を申し上げたい。</p> <p>ただ、コロナはこれで終わりではないと私は思っている。安心して図書館を利用できる仕組みをこしらえてほしい。それと堺市全体に言えることだが、中央図書館は50年経っている。耐震工事も行っているが、大地震に備えて、立て直しを検討してほしい。市長等に状況を見ていただいたらどうか。あくまで要望だが、消防署の跡地に中央図書館の移転をさせる意見もきく。私も市へ投げかけているが、よい返事が得られない。</p>
委員	<p>コロナ禍の中、前年比は各区ばらつきがあるが、来館者数に関しては3割減で済んでいるようだ。減は減だが図書館の職員の皆さんはこの一年すごく頑張られているのではないかと。</p> <p>図書館カウンター堺東には期待している。これは高野線沿線だが、南海本線、堺駅とか羽衣駅等にも、また建設の計画をしていただければと要望</p>

	したい。
委員	<p>コロナで非来館型サービスが充実して、それはそれで非常に良い面もあった。講演会も家からネットで見られるようになったり、小さい子ども達がお話し会にズームで、離れていても参加できるのもすごくいいと思うので、コロナが収まってからも続けてほしい。来館困難な方にも良い面があると思う。</p> <p>リアルも大切。どちらかではなく両方へのサービス充実を続けてほしい。来館困難な人も図書館を利用し続けられるようにという精神を持ち続けて欲しい。</p>
<p>案件終了 今後の予定を事務局より説明</p>	
事務局	<p>今後のスケジュールだが、今年度の統計数値等が揃った段階で委員の皆様へサービス評価の案をお送りするので、意見や評価のご協力をお願いする。また、令和3年度堺市立図書館サービス評価における各区の目標については、次年度お示しする。</p> <p>なお、令和2年度堺市立図書館サービス評価は、中央図書館基本指針で示されたサービスの基本方針に基づき作成し、委員の皆様からのご意見等を踏まえ、令和3年8月に完成を予定している。</p>
閉会	